



消防署員らによって保護されるクロツラヘラサギ  
6日午後、うるま市南風原(兼久正義さん提供)

## クロツラ、翼けが

### うるま消防隊員が保護

翼をけがして飛べなくなったクロツラヘラサギが6日、うるま市南風原の水路で消防署員らによって保護された。クロツ



ラヘラサギは警察や住民が見守る中、消防署員が小さな水路に追い込んで保護した。

けがの原因は不明で、右の翼が複雑骨折し左の翼も出血していた。ことは北に渡ることができない可能性が高いという。現在はNPO法人どぶつたちの病院沖縄で治療を受けている。

同病院の仲地学事務局長は「早く元気になって、次に渡ってくる仲間と合流してほしい」と話した。